

2014 January vol. 13

- ●発 行/社会福祉法人ポム・ド・パン
- ●発行日/2014年1月31日
- ●障害者支援施設ウインドヒル テア610450香川県高松市三谷町3851番地 TEL 050(3734)6707 FAX 087(888)4278



●ケアホーム風見の家 テア610450 香川県高松市三谷町3890番地 TEL·FAX 087(888) 2557

■10月27日、第8回地域とのつどいを行いました。 写真は『三木先生と歌おうwith水上さん』で「野に咲く花のように」を会場全体で振り付けをし、合唱している様子です。



▲後援会で寄付していただいたテントを中心に"つどいテント村"ができました。ゲートをくぐってお客様をお迎えしました。

2020年に東京オリンピック開催が決まり、『おもてなし』の言葉があちこちで聞かれています。

社会福祉分野においては、障害者を取り巻く施策が日々変化する中、医療、保健、福祉、教育、労働等の各分野が連携のもと、様々な施策が実施されているところです。

厚生労働省では毎年、4月2日の「世界自閉症啓発デー」及び4月2日~8日の「発達障害啓発週間」を社会全体で自閉症等の発達障害の啓発に取り組む機会と捉えています。

これは、平成19年12月18日の、国連総会において「世界自閉症啓発デー」に関する決議が採択され、それぞれの加盟国が、自閉症の障害を持っている方について、家庭や社会全体の理解が進むように意識啓発の取り組みを行うこと等が求められているところです。

各県では、自閉症・発達障害関係の団体の協力を得ながら、各名所でのランドマークのブルーライトアップ(H 24年は東京タワーライトアップ)やシンポジュウムの開催、啓発行事、啓発パレード等の活動を行っています。 香川県でも、今までに、ゆめタウンでの広報活動や商店街啓発パレード、県庁ホールでのパネル展示、市役所の懸垂幕での呼びかけ等の活動をしてきました。

今年度も自閉症をはじめとする発達障害について知っていただくこと、理解していただくことの啓発活動を高 松商店街のパレードを中心に計画しております。

地域社会全体の理解と支援の輪がさらに広がっていくことを願います。さらにみなさまのご理解とご支援をお願い致します。

※なお、「世界自閉症啓発デー」での検索を試みてください。情報が満載です。

管理者 松原 正子

ンドヒル・ケアホーム風見の家の主な

第7回香川県知的障害者福祉協会体育まつり



高松市総合体育館で行われた、第7回香川県知的 障害者福祉協会体育まつりに参加しました。保護者 の方も大勢参加してくださり、共に汗を流しました。

第31回ゆうあいスポーツ四国・かがわ"讃々"大会



丸亀競技場で行われた、第31回ゆうあいスポーツ 四国・かがわ"讃々"大会に参加しました。

ゆうあいピックかがわ 卓球大会



12月21日、ゆうあいピックかがわ卓球大会に参加しました。 毎週月曜日の午前中、卓球教室を行い、練習をしてきました。 その結果、5位入賞を果たした利用者の方もいました。団体戦 は惜しくも一回戦敗退しました。

初詣に行きました

白鳥神社大きな絵馬の前で記念撮影



ウインドヒルの利用者は屋島神社、白鳥神社、冠纓神社に分れてグ ループ毎に参拝しました。この行事を通し社会の中でのルールやマ ナーの説明をうけ、参拝の際の手順など社会性を養いました。自らの体 験を通して学んだものを生活に活かしていきます。

ケアホーム風見の家の利用者は1月25日、滝宮天満宮に公共のバス と電車を利用していきました。参拝の後はイオン綾川店でそれぞれ買 物をするなどして、社会体験をしました。

クリスマス会 B1出し物

ユニット毎に発表会や毎月1回行っているフレッシュクラブ講師の小 野川先生によるレクリエーションを行いました。参加した保護者の方も 元気をもらいました。

作業時清潔保持のためキャップを被らないといけません。この出し物 を練習することで物を被ることを体験し、作業中のキャップ着用に繋が りました。動物の被り物を身に付け、笑顔で参加しています。

ウインドビル・ケアホーム風見の家と地域とのうながり

三渓小学校の清掃 ボランティアを行っています



地元三渓小学校の清掃ボランティアを行っています。 地域の一員として地域の役に立ちたいという想いから清掃ボランティアを平成24年10月から行っています。 今後も継続して行っていきたいです。

獅子舞演舞 ウインドヒル北駐車場にて



10月12日、地元通谷東の自治会の方が獅子舞の演舞をしていただきました。勇壮な獅子の舞に利用者は興味深々で見入っていました。

三谷町防災訓練に参加



高松市南部運動場で行われた三谷地区コミュニティー協議会総合防災訓練に参加しました。地域の一員として災害時には地域の方と相互連携、協力体制がとれるよう訓練をしてきました。写真はバケツリレーの様子です。手際よく地元自治会の方と一緒に運べました。

秋の交通安全 街頭キャンペーンに参加



秋の全国交通安全運動街頭キャンペーンに参加しました。 当日は香川町のウイングポート前交差点で地域の方と一緒に 安全運転を呼びかけました。

ポム・ド・バシの理念

障害があっても、誰からも愛される人に成長できるように、丁寧に寄り添って関わります。

障害があっても、正しいことを根気よく伝えることにより、何歳になっても成長することを信じます。

障害があっても、できることが増えるように、様々なことを獲得できるように、一貫性をもって、継続して支援します。

障害があっても、その方の得意なことを、大好きなことを見つけ、これを通して、生活基盤を作ります。

第8回

世域とのつどり

利用者の色々な表情が見れて良かった



10月27日、第8回地域とのつどいを行いました。心配されていた台風の影響もなく、天候にも恵まれました。地元の方、関係者、ボランティアさん、保護者の方など総勢300名を超える人たちにご参加いただきました。地域とのつどいも8回を力強い歌声から元気を 迎え、様々な人たちに支えられ、年々パワーアップしています。今年は初めてリズムダンスにもチャレンジし



つどいの風物詩 三木先生と歌おうwith水上さん

三木先生と水上さんは毎年ボランティアで地域とのつどいに参加していただき、今年は『夕焼け小焼け』や『野に咲く花のように』などを手話コーラスなどを交えながら会場全体で盛り上がりました。利用者の方も先生と歌うことをとても楽しみにしています。

シャボン玉やヨーヨー<u>欽</u> りが楽しかったです





今年初披露!!リズムダンス(社交ダンス)

リズムダンスとは社交ダンスを基本としたダンスです。平成24年5月より、毎月2回アキ・ダンススタジオの横井昭男先生と 奥さまがボランティアとしてリズムダンスを教えに来ていただいています。月2回のセッションの他、

夕食後の余暇の時間などを 利用し、この日のために一生 懸命練習してきました。

毎年楽しく参加しています



Presented by Windhill

今年は地域交流棟の一角にネイルコーナーを設置しました。おしゃれ好きな子どもから大人までたくさんの方にお集まりいただき大盛況でした。またテント村ではヨーヨー釣りやシャボン玉、あめ玉すくいコーナーを設置し、子どもたちに大人気でした。

あめます《い



少中ボツ玉



3-3-新り



ネイルコーナー





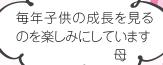
ウインブースを設置

今年は自閉症や知的障害の歴史や変遷についてまとめたパネルを展示しました。自閉症に特化した施設として今後も啓発活動を行っていきます。



活動写真の掲示

ウインドヒルやケアホーム風見の家の行事や生活風景などの写真を掲示しました。利用者の楽しそうな活動写真を通して、参加者の皆さまに生活の様子を紹介しています。

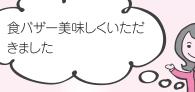




『ニャー倶楽部』さんのお力添え美味しい食バザー

毎年、食バザーを開催していただいている『ニャー倶楽部』さんのお力添えで今年も食バザーを盛大に行うことができました。またウインドヒルと

ケアホーム風見の家の利用者も 食バザーの手伝いを積極的 に行っていました。『ニャー 倶楽部』の皆さん美味しい 食バザーをご提供していただき ありがとうございました。





テント村 食事風景

保護者会からいただいたテントを使用し、屋外に巨大な食事スペースを設置しました。また地域交流棟や作業棟にも食事スペースを設置しました。

利用者の方の笑顔がと ても素敵でした



Presented by Guest

毎年地域とのつどいはたくさんの方々に支えられ行われています。四国医療福祉専門学校の学生さんによる躍動感あふれるエイサー太鼓の演舞、因藤さんの素敵なサックス演奏、今村さんの可愛い似顔絵、坂口さんの優しい木のおもちゃ販売などたくさんの方にご協力いただきました。

木のおもちゃ坂口さん



今村さん似顔絵

 $\Pi\Pi\Pi$



因膝さんサックス演奏



四国医療福祉専門学校 軍和サー大鼓演舞



職員コーナー

ウインドヒルで支援員として仕事させていただくようになってから3年が過ぎました。今までにも障害者施設で働いたことはありましたが、最初に驚いたことは、ユニット制の個室であり、生活面のことはユニット内で完結できるということでした。利用者の方が全員個室の部屋を持って生活しているのを目にして他の施設にはないものであると思いました。

各ユニット毎にそれぞれの特徴があります。私の担当しているC1ユニットはひとつにまとまれば動きも速く力を発揮します。移動や外での落ち葉拾い、配膳等ではまとまった時の力はどのユニットにも負けないと思っています。先日クリスマス会で劇を行いました。宇宙人に扉の中に閉じ込められた青年を通りすがりの人に扮した利用者の方が、扉にロープをかけ全員で力を合わせて引っ張って助けるといったものでした。余暇に時間や食事前後の時間を利用して何度も練習してきました。当日は参加の保護者の方にも入ってもらい、どたばた劇でしたが、最終的には全員がひとつになって劇を終了することができました。日頃利用者の方がきちんと自分の役割をこなしたり、日課に添った行動が出来ることは今までの支援員の継続した支援があるからだと改めて思いました。9名の個性ある利用者の方がひとつになること、またそれを支援することは難しいことですが、様々な経験をすること、日頃より継続した支援を実施していくことが利用者、職員の成長に繋がっていくと思います。これからも利用者の方と一緒に様々な経験を通して共に成長していきたいと思います。

研修報告

• 11月4日~5日 第27回全国自閉症者施設協議会大阪大会

主催:全国自閉症者施設協議会 開催地:大阪府

今までこのような大会にはあまり参加していませんでしたが、専門性について具体的に話を聞けることが出来たことが一番の収穫でした。参加させていただいた分科会では、圧倒的にグループホームの職員が多かったので、話のレベルや支援方法に温度差を感じましたが、実践に活かせる話をたくさん聞くことができ、今後の支援に活かしていきたいと思います。 ケアホーム風見の家 サービス管理責任者 和田 真由美

• 1月30日~31日 平成25年度第2回障害者支援施設部会全国大会

主催:日本知的障害者福祉協会他 開催地:福岡県

今回初めて全国的な研修会に参加させていただきました。

『誇れ!障害者支援施設』〜共生社会の現実に向けた機能強化と実践力〜をテーマに医療との連携、地域との連携、施設・職員の専門性など各方面からの発表もありました。今回の研修で学んだことを刺激とし利用者の幸せ、施設の発展のために役立てたいと思います。 看護主任 金川 恵子

地域交流棟でプロジェクターを利用して管理者松原による研修会を行いました

● 10月10、11、15日 高松市障害児担当保育士研修 64名

3日に分かれて各20名程度の研修会です。障害を持った園児さんの対応、 保護者との関わりなどたくさんの質問が出ました。

一部感想を抜粋で紹介させていただきます。

- ・一貫性を持って毎日継続していくことが必要でありコツコツと積み上げることの大切さ。
- ・できないところは丁寧に寄り添って適切な支援をすることの大切さ。
- ・正しいことを正しく教えてあげるということに気づいた。
- ・施設が利用者にとってとても優しく過ごしやすいように整えられている と 感じました。
- ・障害は完治すべきものではなく上手に付き合っていくものというのが印 象的だった。
- ・正しいことを信念を持って取り組み、楽しみながら体験することを目標におく。
- ・"やりきる"ことや先手必勝がポイント



高松市立保育園で障害児を担当している保育士さんが参加して毎年10月に研修会を実施しています。

• 11月18日 香川県知的障害者福祉協会人材育成研修会 21名

香川県下の障害者支援施設の情報交換会を行いました。参加された施設職員の方から自閉症を持つ方への対応(支援)の方法など様々な質問が出され、具体的にウインドヒルでの支援方法について事例を上げながら問題解決につながるよう助言し、障害を持っている人が豊かな生活が出来るように、職員の資質向上を高めました。

|香川第一中学校の生徒さんが総合的な学習『地域に学ぶ』でウインドヒルで社会体験をしました。

10月16日、香川第一中学校の1年生16名がウインドヒルに見学に来られました。利用者の作業を見学した後、利用者と一緒に卓球を楽しみました。生徒さんより感想をいただきましたので紹介させてもらいます。

ウインドヒルを見学させていただきありがとうございました。僕は ウインドヒルを見学してとてものどかで自然のたくさんあるすばらし いところだと思いました。自閉症の人などの生活をすべてケアしてい るということにびっくりしました。ウォーキングコースを歩いてとて も心が落ち着きました。作業棟を見学して正確に作業していてとても すごいと思いました。僕もあんなに必死に作業をする人たちを見て見 習わなければいけないと思いました。最後に松原さんと卓球をしてと てもおもしろかったです。とても強かったけど、少し手かげんをして くれたのでうれしかったです。利用者の人がとても優しく接してくれ たので最初あった不安がなくなりました。おいそがしいなか見学させ ていただき、本当にありがとうございました。

香川第一中学校 1年3組 林 圭悟



うどん箱製造作業の様子を見学しました



利用者と卓球をしている様子です

ウインドヒルに見学に来られました



ピンセットの袋詰め作業を見学している様子です

県外よりたくさんの人がウインドヒルに見学にこられました。ウインドヒルが行っている生活支援(1ユニット9名のユニット制など)や作業棟での作業支援などを見ていただきました。その他ウインドヒルの取り組みについて多岐に及ぶ質問がありました。

• 9月13、27日

高知県

くすの木園

6名

11月1日11月19日

愛媛県鳥取県

フレンドまつの 羽合ひかり園 5名 12名

◎暖かなお気持ち◎

ハートアートフェスティバルに協賛した三菱電機ビルテクノサー ビス㈱様が行う社会福祉事業のための寄付金をいただきました。

公益社団法人あゆみの箱様より車いす1台いただきました。

地元の方よりもち米と力キをいただきました。

地元の方よりケアホーム風見の家にお米30kgいただきました。

ウインドヒル「地域変流棟」を利用しませんか

スポーツ、芸術活動、100名程度の研修会などに使用できます。卓球(卓球台を備えています)、ダンス、音楽演奏などにご利用いただけます。利用料は無料。エアコン使用時のみ、光熱費として1時間につき500円必要となります。施設利用者に支障のない時間、地域交流棟を一般の方にご利用いただいています。



問合先:障害者支援施設ウインドヒル TEL:087-888-4277 050-3734-6707

社会福祉法人ポム・ド・パンのホームページをリニューアルしました!! 当法人からのお知らせやウインドヒルでの取り組みなどを随時更新していますので是非ご覧ください。 スマートホンでは右のQRコードから読み取れます。

アドレス: http://www.pomme-de-pin.or.jp/



社会福祉法人术A。P。N》後接会 (敬称略·順不同)

◆個人会員 平成25年度 平成25年9月1日~平成25年12月31日

徳永 国広 石丸 和孝 三好美千代 大垣 博信 松原 條一

重利 久代 桑田 尚悦 細井

平成25年9月1日~平成25年12月31日現在、以上の方々に継続及び新規ご入会頂きました。 平成26年1月1日以降にご入会の方々のお名前は次回の会報に掲載させて頂きます。 本当にありがとうございました。

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会のご案内

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会は、当法人が運営する障害者支援施設「ウインドヒル」とケアホー ム「風見の家」をサポートしています。

今後長期にわたり、利用者一人ひとりを大切にした理想的な療育を行い、施設の整備を継続的に発 展させてゆくには、より多くの方々のご支援を必要としております。

何卒、私達の趣旨をご理解いただき「社会福祉法人ポム・ド・パン後援会」にご入会下さいますように お願い申し上げます。

年 会 費 個人会員 一口 3,000円 団体会員 一口 10,000円

ご入金方法 郵便振替 口座番号 01690-3-74305 口座名称 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会

保護者会コ

参加 じる事、 マス会でありました 達なりに意識して行事に 達 取 ゴメンナサイ。各ユニッ た、とてもステキなクリ よ。と、改めて気付 心に、まだまだ伸びるんだ 気がします。アリガトウ。 て考えたコスチュームや、 支援員さんが、利用 べてニコニコ。…そんな もう、成長など、 を私は見せてもらった が 皆で、ワイワイ。ガ 。ユニットごとの出 人一人に思いを寄 り組みに、 、楽器、歌、 (駄と思いがちな親の がと思っていま するという本当の 、踊る事、 、奏でる事 、利用 岩部 、歌う 寸, 劇 を 者さ、 か 、願って べされ 者さ 自

保護者会よりキンボール、座ってできる玉入れセット5つ、イルミネーションライト などたくさんのクリスマスプレゼントをいただきました。大切に使わせてもらいます。





和

メリー♀(年齢非公開) 2006年12月にウインドヒルに 来ました。

編集後記

2014年が始まりはや 1ヶ月が経ちました。ウインドヒルの 1 月は身にしみる 寒さであり、早朝などは水溜りの水がバリバリに凍っています。そのような真 冬であっても利用者の方たちは週4日のウォーキングやジョギングを欠かさ ず行っています。その甲斐あってか、この冬大きく体調を崩す利用者の方はほ とんど居ません。毎日の小さな積み重ねがほんとに大切だと改めて感じてい ます。



2006年1月生まれ



「ポム・ド・パン」とはフランス語で松ぼっくりという意味です。「ウインドヒル」の建つ丘には、時折、松ぼっくりが転がっています。松ぼ っくりは、松の木の生命である種子が住んでいるお家です。ここで種子が大切に育まれ、また、次の命を生み出していきます。一年中緑の葉を つけ、砂地でも荒地でもしっかり根をはり、大きく枝を広げている松。その生命をしっかりと包み込んでいる松ぼっくり。「社会福祉法人ポム ド・パン」も強く・たくましく・大きく、そして、小さな一つひとつの生命を育む暖かな場所なのです。

